

Investor's Report

2026年3月期 第2四半期 [2025年4月1日 ~ 2025年9月30日]

特装車事業に関する独占禁止法違反に関するお詫び 2026年3月期上期 事業活動に関するご報告

代表取締役
取締役社長

五十川 龍之



1. 特装車事業に関する独占禁止法違反に関するお詫び

株主の皆様には、半年前にお届けした本誌上で、機械式駐車装置の販売に関する独占禁止法違反により、当社が排除措置命令、課徴金納付命令を受けたこと、加えて特装車の架装物等の販売価格に関する同法違反に関しては調査中であるご報告申し上げました。

本年9月24日、特装車事業に関する違反につきまして、公正取引委員会は、当社および子会社の東邦車輛（株）において、同法に違反する行為があったと認定した旨公表されました。

この、特装車事業の法令違反は、パーキングシステム事業が立入検査を受けた直後に行った社内調査で把握したもので、当社と東邦車輛（株）は、直ちに違反行為を取りやめ、公正取引委員会に違反行為について自主申告するとともに、課徴金減免制度（リーニエンシー）の適用を申請いたしました。その結果、両社に対して排除措置命令は発令されず、課徴金の納付も免除されました。

なお、同委員会の調査が継続している間、当社からの情報発信を控える必要があり、9月24日の結果公表までご報告ができませんでした。何卒ご理解ください。

グループを代表する立場として、パーキングシステム事業に続き、特装車事業においても法令違反を行っていたという事実は誠に遺憾であり、株主様、そしてお客様をはじめとする多くのステークホルダーの皆様の信頼を裏切る結果となりましたこと、心からお詫び申し上げます。

今般、社内規則に従って実施した関係者の処分、再発防止措置につきまして、あらためてご報告申し上げます。

(1) 事業の責任者らに対する懲罰

本件に関し、担当者らに対する懲戒処分のほか、特装車事業の責任者らに対し、次のとおり懲罰処分を科しております。

役職等	懲罰の内容
当社 常務執行役員 経営企画本部長 (前 特装車事業部長)	月額報酬10%削減(3カ月間)
当社 執行役員 特装車事業部 次長	月額報酬10%減額(3カ月間)

(2) 報酬の自主返納

役職等	懲罰の内容
当社 代表取締役 取締役社長	月額報酬の10%(3カ月間)
東邦車輛(株)代表取締役 取締役社長	月額報酬の10%(3カ月間)
東邦車輛(株)取締役 管理本部長	月額報酬の10%(1カ月間)
東邦車輛(株)取締役 営業本部長	月額報酬の5%(1カ月間)

(3) 再発防止措置

以下の再発防止措置を継続実施、あるいは新たに設けております。

- ① 企業倫理に関する啓蒙活動の一環として、私からグループ会社を含む全ての役職員に対し、「行動指針」および「行動規範」に則り、高い倫理観に基づく責任ある行動をとるべきことや、コンプライアンスを徹底すべきこと等を込めたメッセージを、さまざまな機会・媒体を通じて繰り返し発信しております。
- ② 2023年9月、弁護士および法務部門からなる調査チームを組成し、グループ会社を含む営業担当者およびその他の競争上の機微情報を取り扱う役職員を対象に、過去5年間にさかのぼって独占禁止法に違反するおそれのある行為の有無の調査を実施いたしました。
- ③ グループ会社を含む全ての役職員を対象に、弁護士を講師に迎え、独占禁止法の遵守に係る研修を、毎年実施しております。さらに、機械式駐車装置の営業担当者を対象に、具体的な事例による特別研修を実施しております。
- ④ 競合他社の役職員との間で競争上の機微情報に関する取り決めや交換を行うことを禁止するとともに、競合他社の役職員と打合せを行ったり、メールのやりとりをするなど接触をする場合、あるいは接触をした場合の届け出・審査等に関する社内規程を新たに制定し、運用しております。

⑤ 万一、法令違反等の不正行為を行った場合、これを自主的に申告し、不正行為の改善等に貢献した役職員については、懲戒処分の内容が免除あるいは軽減され得ることを明文化した社内リーニエンス（減免）規程を制定し、運用しております。

今般、2件の法令違反を犯した事実を真摯に反省するとともに、ここに記した再発防止措置に継続して取り組み、株主の皆様をはじめステークホルダーの皆様からの信頼回復に努めてまいります。

2. 2025年度上期 事業活動に関するご報告

この上期末で、現在推進中の中期経営計画[SG-2026]も折り返しとなりました。

米国における関税問題や世界各所で戦争・紛争が続くなど、揺らぎが生じている最中ではありますが、当社グループでは、当初立案した計画に基づき、必要に応じて諸施策をアップデートしながら推進しております。

2025年度上期の業績につきましては、本誌3～4ページにも概要を記載しておりますが、受注高は過去最高を記録し、売上高は前年同期と比べてわずかに減少したものの、過去2番目の水準となりました。

一方営業利益は、EV市場の落ち込みの影響を受けた産機・環境システムセグメントの落ち込みが大きく、他に増益となったセグメントがあったものの、前年同期と比べて全体でも減益となりましたが、社内計画にそった仕上がりとなりました。

ここでは、この上期に公開した情報の中から、株主の皆様にご紹介したいトピックスをセグメント別にお示しします。

■ 特装車セグメント

塵芥車のお客様をサポートする、画期的なシステムの開発に取り組んでおります。

塵芥車とバスは、決まった時間に一定のルートを走行し、決められた場所に停車するという共通点があります。人手不足や働き方改革が叫ばれる中、塵芥車で国内シェア6割を有する当社と、国内唯一のバス用電装機器トータルサプライヤーであるレシップ（株）の2社が、双方の技術と知見を融合し、効率的かつ持続可能な廃棄物の収集運搬の実現を目指して開発しているのが、「廃棄物収集業務効率化システム」です。

現在、お客様の協力を得て行った実証実験結果を踏まえ、2025年内のサービス提供を目指して鋭意取り組んでおります。

「廃棄物収集業務効率化システム」主なサービス内容(予定を含む)

ドライバー支援	オペレーター支援
経路ナビゲーション	車両位置の遠隔確認
自動収集記録と収集日報の電子入力機能	収集ルート・収集実績・車両の電子管理
メッセージ確認機能	ドライバーにリアルタイムで一斉連絡
車両との連携(積載量・メンテナンス情報)	車両積載量の遠隔確認
住民向け情報提供サイトの提供	塵芥車のメンテナンス情報の提供



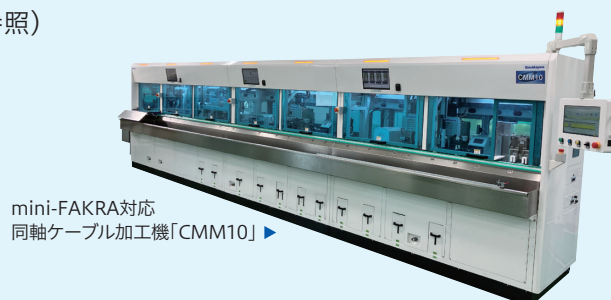
「廃棄物収集業務効率化システム」イメージ

(左から車載通信機器、経路ナビゲーション、車両搭載状態を含めた車両位置(遠隔)確認画面)

■ 産機・環境システムセグメント

高速通信ハーネス生産の高精度・自動化に寄与する自動電線処理機の新製品「mini-FAKRA対応 同軸ケーブル自動加工機『CMM10』」を開発し、本年8月から販売を開始しました。

近年自動車業界では、CASE対応の一環として、映像・画像データを転送するハーネスの高速化・大容量化が求められています。新製品の「CMM10」は、当社にとってお客様であるワイヤーハーネスメーカーの業務効率向上、省人化に貢献する製品です。(P.5～6「事業解説」ご参照)



mini-FAKRA対応
同軸ケーブル加工機「CMM10」▶

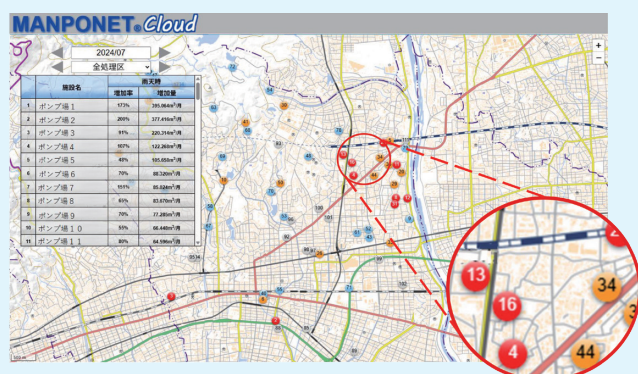
■ 流体セグメント

マンホールポンプ場向けに提供しているクラウド監視システム「マンポネット® (クラウド)」は、複数のマンホールポンプ場の稼働状況を遠隔監視できる機能です。今般、同システムに「不明水診断機能」を追加しました。

「不明水」とは、下水道施設に本来流入しない浸入水を指し、「直接浸入水」「地下水」「その他」の3つに大別されます。「不明水」は、下水処理量の増加に加え、処理能力を超えると社会生活に影響するリスクが発生するため、

各自治体において、浸入元の特定が課題となっています。

今回追加した「不明水診断機能」は、浸入エリアを絞り込む判断材料を提供するシステムです。気象庁提供の降雨データとマンホールポンプ場内の水中ポンプの吐出し量等の稼働データを基に、「不明水」の影響度分析結果を地図上に示します。自治体は、分析結果を参考に、影響度の高いマンホールポンプ場を基点に調査を行うことで、「不明水」の浸入箇所が効率よく特定できます。



地図上に「不明水」の影響度を示す「不明水診断機能」
(地図上の赤いアイコンが、「不明水」の影響を大きく受けているマンホールポンプ場)

■ 航空機セグメント

本年9月4日、5日の二日間、神戸市で開催された「国際フロンティア産業メッセ 2025」に、「高高度無人機(XU-S II)」のスケールモデルと、「無人飛行艇(XU-MII)※」の実機を展示しました。

当社は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)公募「経済安全保障重要技術育成プログラム(K Program)」の研究開発課題「海空無人機による海洋観測・監視・調査システムの構築(研究代表機関：国立研究開発法人海洋研究開発機構[JAMSTEC])」において、双胴型の無人飛行艇実証機の開発を担っており、メイン展示となった「無人飛行艇(XU-MII)」は、実証機の開発に必要なデータ収集および課題把握を目的に、1/5スケールで開発したものです。

当日は、複数のマスコミが当社ブースを来訪されるなど、各所から注目を集めました。

また、「XU-MII」は、本年10月初旬に甲南工場沖(神



展示会で披露した「XU-MII」(1/5スケール)

戸市)で飛行試験を行い、無事初飛行に成功しました。今後も複数の実験を重ね、K Programに提供する実証機製作につなげてまいります。

※XU-MII:NEDO委託業務「高高度無人機による海洋状況把握技術の開発・実証」の成果

■ パーキングシステムセグメント

パーキングシステム事業のメンテナンス職採用強化の一環として、このたび、ウェブサイト上に「メンテナンス職向け採用サイト」を開設しました。当社の強みの一つである、自社製品を自らメンテナンスする体制を維持するために、メンテナンス職に対象を絞り、

- ・パーキングシステム事業の歴史・概要
- ・機械式駐車設備 メンテナンス業務の内容
- ・現役従業員へのインタビュー
- ・技能研修・福利厚生制度の紹介

などを、短時間で把握できるコンテンツを掲示しております。

若い世代にメンテナンス業務の重要性、価値について理解を得て、雇用を促進することで、サービス業務の品質維持・向上に努めております。

パーキングシステムの
チカラで

**世界に価値ある
未来をつくろう!**

メンテナンス職向け採用サイト

▼こちらから



パーキングシステム事業部「メンテナンス職向け採用サイト」トップページ(イメージ)

3. 最後に

今、私たちがやるべきことは、本稿の冒頭でご説明した法令違反再発防止措置を、各項の意図を理解し、継続して取り組むこと、そのうえで、現在推進しております[SG-2026]において、最終年度にあたる2026年度を意識した諸施策をしっかりと実践していく、この2点に集約されます。

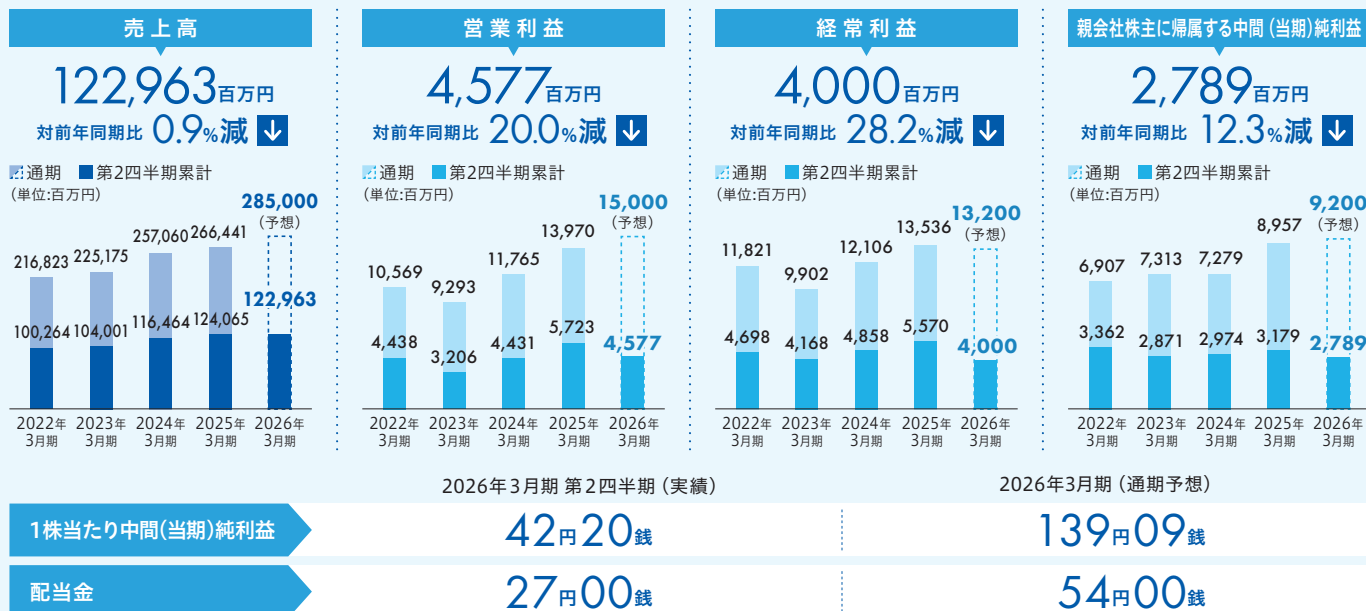
株主の皆様におかれましては、今般ご報告申し上げた状況にありながらも、当社グループの将来に期待をお持ちいただき、心から感謝申し上げます。今後とも当社グループの行く末を見守っていただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

連結業績ダイジェスト

POINT

売上高 産機・環境システムセグメントの減収等により、全体では減収(前年同期比)
中間期としては、過去2番目の水準

利益 特装車、パーキングシステム その他の各セグメントは増益となったが、それ以外は減益となり、全体では減益(前年同期比)



セグメント情報

主要5事業の製品/サービス内容の詳細は、
当社ウェブサイトに掲載しております。
詳しくはこちらからご確認ください。



特装車

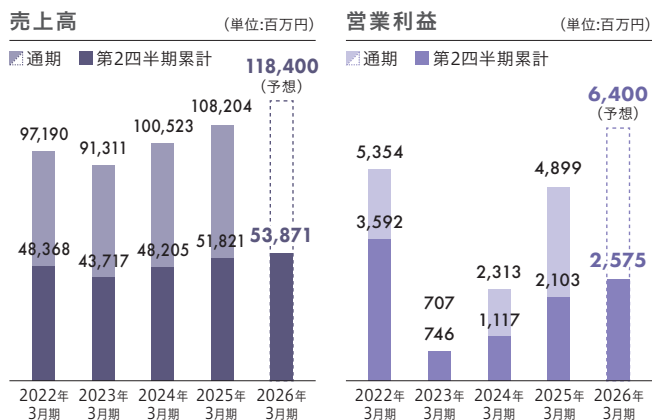
ニーズに合わせた「働く車」を製造・販売。
作業性と安全性を共に満たす品質を追求しています。

主要製品/サービス 建設関連車両:リヤダンプトラック、ミキサ車
物流関連車両:テールゲートリフト、トレーラ、タンクローリー
環境関連車両:塵芥車(ごみ収集車)、脱着ボデー車
高性能林業機械

パーキングシステム

快適なモビリティ社会の実現をサポート。
都市インフラを支えるソリューションを提供しています。

主要製品/サービス エレベータ方式駐車設備
二・多段方式駐車設備
コインパーキング
航空旅客搭乗橋

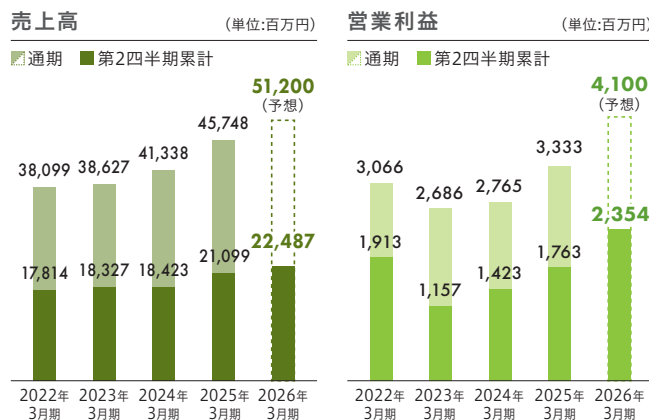


2026年3月期 第2四半期 業績概要

- 主に環境関連車両の売上が増加
- 増収、売価改定効果により増益

2026年3月期 通期業績 見通し

- 高水準の受注残高を背景に、増収増益を見込む



2026年3月期 第2四半期 業績概要

- 機械式駐車設備:製品、アフターサービス、いずれも増収
⇒増収、売価改善効果により増益
- 航空旅客搭乗橋:国内向け、海外向け いずれも減収
⇒減収による減益

2026年3月期 通期業績 見通し

- 機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋、いずれも増収を見込み、営業利益も増益を見込む

産機・環境システム

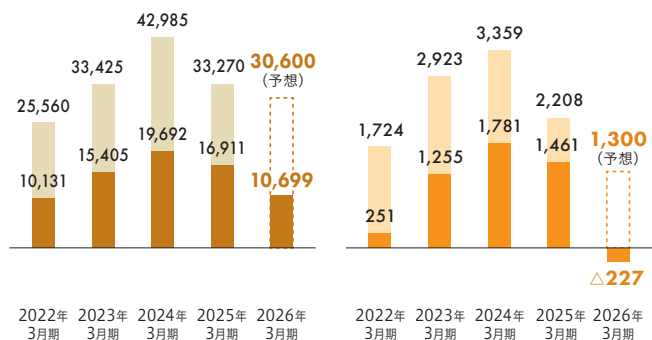
社会インフラを支える技術力、エンジニアリング力が強み。
EV化や循環型社会の促進に貢献。

主要製品/
サービス

自動電線処理機
真空乾燥装置
ダイレクトドライブモータ
ごみ中継施設

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期累計



2026年3月期 第2四半期 業績概要

- メカトロニクス製品:真空製品が減収 ⇒ 減収による減益
- 環境関連事業:プラント案件が減収 ⇒ 連結子会社の収益改善効果で増益

2026年3月期 通期業績 見通し

- 環境関連事業の減収、運営費の増加等により、全体では減収減益を見込む

流体

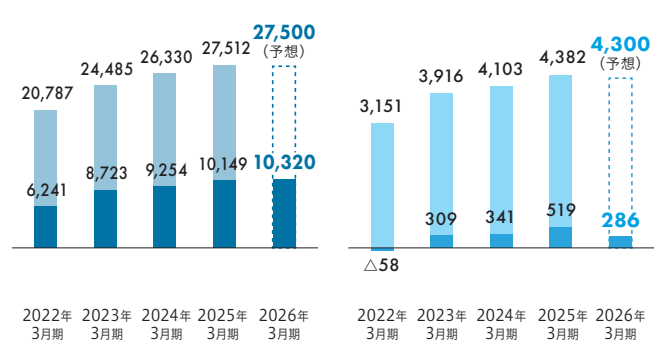
水インフラへの貢献を通じて生活環境を守る。
水環境の維持、水害対策に寄与する製品群が強み。

主要製品/
サービス

高効率・高通過性水中ポンプ
水中ミキサ
立軸槽外型ポンプ(雨水排水分野向け)
空気軸受式可変単段ターボプロフ

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期累計



2026年3月期 第2四半期 業績概要

- 海外向けは減収となるも、国内向けは増収となり、全体では増収
- 海外子会社の減収、運営費の増加等が影響し、減益

2026年3月期 通期業績 見通し

- 売上高、営業利益、いずれも前年同期並みを見込む

航空機

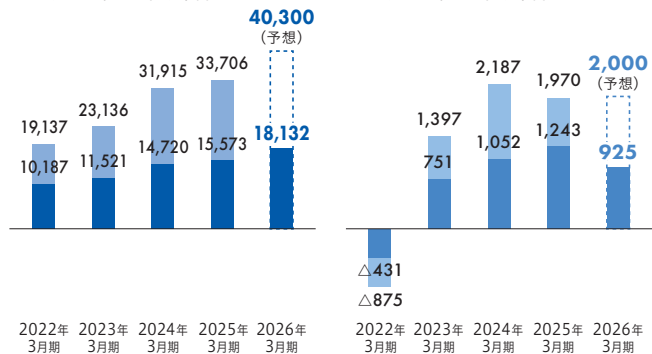
祖業の航空機技術を礎に、海と空で活躍。
固有技術と経験を糧に航空機の可能性を探索。

主要製品/
サービス

US-2型救難飛行艇
ボーイング社大型航空機「777」向け 翼胴フェアリング
ボーイング社中型航空機「787」向け 主翼スパー
固定翼型無人航空機 ※開発段階

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期累計



2026年3月期 第2四半期 業績概要

- 防衛省向け、民需関連、いずれも増収
- 増収となるも、為替の円高が影響し、減益

2026年3月期 通期業績 見通し

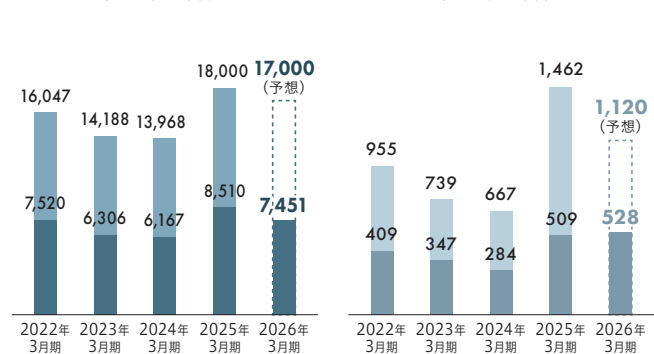
- 防衛省向け、民需関連、いずれも増収を見込むが、為替の影響を勘案し、営業利益は横ばい
(【為替レート】前期実績:1ドル=152.1円)
今期前提:1ドル=145円)

その他

建築・土木、不動産・人材派遣業、ITインフラ構築等、
グループ経営をサポートする横串機能。

売上高 (単位:百万円) 営業利益 (単位:百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期累計



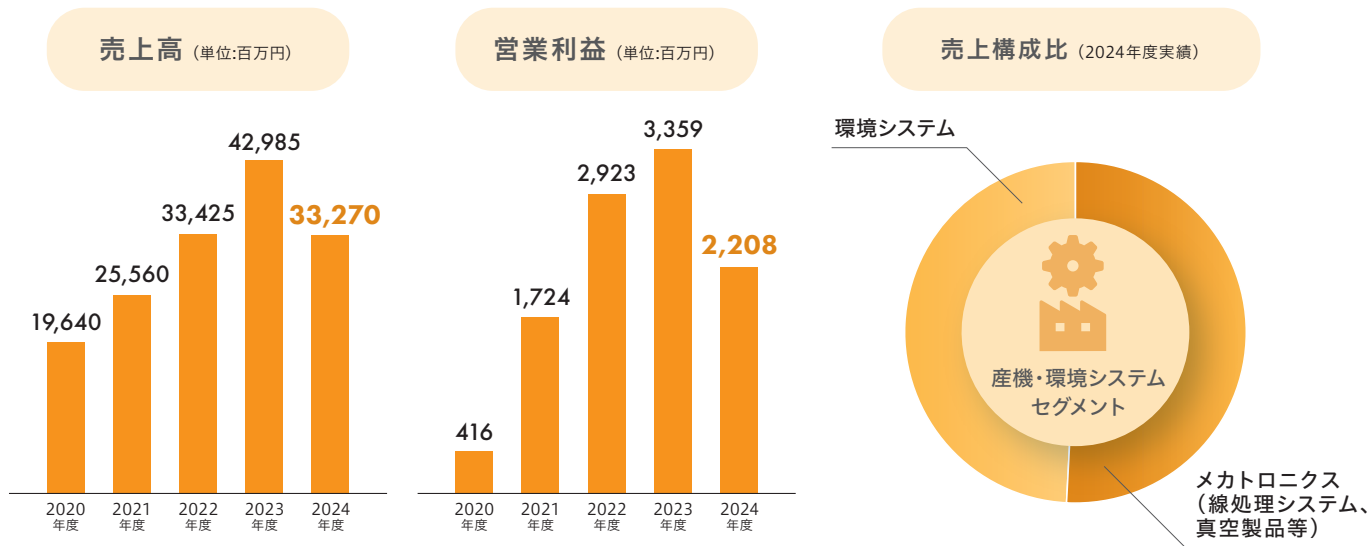
2026年3月期 第2四半期 業績概要

- 建設事業、ソフトウェア事業等、いずれも減収
- 減収となるも、建設事業の案件構成差により、営業利益は前年同期並み

2026年3月期 通期業績 見通し

- 建設事業、ソフトウェア事業等の減収により、減益を見込む

産機・環境システム事業



1. 産機・環境システム事業の歴史

「産機」とは、「産業機械」を略したもので、かつてはパーキングシステム、流体各事業もこの中に含まれていました。「産機」の製品は、1954年の「自吸式ポンプ」、1956年の「ワイヤー・ストリッパー（現在の主力製品「自動電線処理機」の初期）」に始まります。

「自吸式ポンプ」は、当時当社が製造していたオートバイ「ポインター」のエンジンを転用し商品化したもので、後に業界ナンバー1の座を獲得、これが水中ポンプ（流体事業）へとつながっていきました。

また、「ワイヤー・ストリッパー」は、松下電器産業（当時）からの依頼で、テレビやラジオの配線線材を一定の長さに切断し、その両端の被覆をはぎとる自動化装置を開発したのが始まりです。

その後も工業用ロボットをはじめ、技術力を生かしたさまざまな製品を世に出してきましたが、現在の主力は、高速・高精度な加工を行う「自動電線処理機」、一部にロボット搬送技術を生かした「真空製品」、卓越した精度を誇る「BUILT-IN DDモータ」の3製品群です。

一方環境システムは、特装車事業から分かれた歴史があります。1960年代、ダンプトラックの売上が7割を超えていた特装車部門が、第二の柱として着目したのが「ごみ収集輸送システム」でした。海外企業と技術提携して開発した「コンパクト（圧縮機能装置）」を軸に、他に先駆けて「収集」と「輸送」機能をつなぐ構想を具体化し、以来、主力の「ごみ中継施設」は常に高いシェアを誇っています。

2. グループ会社

広範な事業領域に比例して傘下のグループ会社数も多く、早くから海外で事業活動を行う体制を整えてきました。

産機・環境システムセグメントを構成するグループ会社

法人名	事業分野	主な事業内容
新明和ウエステック株式会社	環境	リサイクル施設やごみ中継施設など環境施設の運営管理
大亜真空株式会社	産機	真空技術を利用した各種機械製造
KOREA VACUUM LIMITED(韓国真空)	産機	真空技術を利用した各種機械製造、コーティングサービス等
ShinMaywa (America), Ltd.	産機/流体	自動電線処理機、流体製品の販売・保守・修理
ShinMaywa Mexico S.A. de C.V.	産機/流体	自動電線処理機、真空装置および流体製品の販売・保守・修理
ShinMaywa (Asia) Pte. Ltd.	産機/環境/パーキング/流体	航空旅客搭乗橋の組立・販売・保守・修理、産機・環境システム製品および流体製品の販売・保守・修理
ShinMaywa (Bangkok) Co., Ltd.	産機/環境	自動電線処理機、真空装置、環境システム製品の販売・保守・修理・据付
新明和(上海)精密机械有限公司	産機	自動電線処理機の製造および販売
新明和(上海)商贸有限公司	産機	自動電線処理機はじめ各種産機システム製品の販売・保守・修理
新明和(重庆)环保科技有限公司	環境	排水処理システムおよび関連製品の設計・製造・販売・保守・修理

3. 主要事業の概要

(1)メカトロニクス [線処理システム]

市場環境

加速する自動車の自動運転化に伴う高速通信系ワイヤーハーネス、EV（電気自動車）、HV（ハイブリッド車）で使用される高圧系の加工品質、コスト削減に寄与する加工工程の自動化促進等に伴い、主要顧客（ワイヤーハーネスメーカー）の需要がシフト。

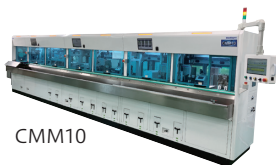
強み・課題

[強み] お客様の要求事項を具体化する技術力、操業に必須となる安定稼働を維持する品質・サポート体制。

[課題] 自動車メーカーが集積するヨーロッパには専門メーカー大手が存在し、参入障壁が高い。

最近の動静

高速通信ハーネス生産の高精度・自動化に寄与する「同軸ケーブル自動加工機」を開発し、2025年8月から販売を開始しました。今般開発した「CMM10」は、高速通信ハーネス等に使用される同軸ケーブル線の端末について、1台で「ストリップ」、「網線処理」などの加工から「品質検査」までを全自動で行える加工機です。標準仕様、片端加工の場合、この一連の作業をわずか4.5秒で行うことができます。



CMM10

(2)メカトロニクス〔真空製品〕

市場環境

世界的なEV市場の減速により、近年急拡大を遂げていた真空乾燥装置の需要が踊り場に。

強み・課題

〔強み〕真空装置は、薄膜形成技術に搬送技術を加味した高付加価値製品の開発、韓国真空が手掛ける真空乾燥装置は、韓国および欧米、インド等主要電池メーカーと取引実績があり、リチウムイオン電池の製造工程で必須の「乾燥」技術に定評がある。

〔課題〕いずれも主要顧客の設備投資計画に則って需要が変動する点。

最近の動静

2025年、韓国真空は二次電池用真空乾燥装置の新製品「Roll to Roll 真空乾燥装置(特許出願済)」を開発しました。主な特長は以下のとおりです。

- ・無人化システムによる生産性向上
- ・レーザー熱源使用により、加熱温度の均一性、省エネを実現
- ・従来の同種装置と比較して、設置面積を半分以下に削減



Roll to Roll 真空乾燥装置

(3)環境システム

市場環境

廃棄物の回収・処理の広域化が進むのに伴い、ごみ中継施設を必要とする地域が増加しており、環境省が設けた「循環型社会形成推進交付金」の後押しもあり、既納施設の更新も含めて当面堅調な需要が続く見込み。

強み・課題

〔強み〕国内で最初にごみ中継施設を手掛け、独自の機構を生かしたごみを圧縮する機能(コンパクト)を強みに、高水準の市場占有率を維持している。近年は、施設の施工を取りまとめるエンジニアリング業務に加え、グループ会社が施設運営を受託するなど業容を拡大。

〔課題〕入札によって委託先が決まること、1案件の受注規模が大きいことから、入札結果によって業績が変動するリスクがある。

最近の動静

いちのもとちょう

2025年4月、奈良県天理市樺本町に建設された「やまとecoリサイクルセンター」が竣工しました。同施設の概要は以下のとおりです。

施設概要

発注者	山辺・県北西部広域環境衛生組合		
所在地	奈良県天理市樺本3246番1番		
施設概要	やまとecoリサイクルセンター(リサイクルセンター棟) やまとeco(啓発棟)		
処理能力	不燃系ごみ(9.1t) プラスチック製容器包装(4.1t) びん(3.0t)	粗大ごみ(4.6t) ペットボトル(1.3t) 缶(1.4t)	
敷地面積	約16,000㎡		
工期	2021年11月25日～2025年4月30日		
運営期間	リサイクルセンター棟 啓発棟	25年間 5年間	



やまとecoリサイクルセンター

4. セグメント長メッセージ

線処理システムでは、近年、自動車産業革命「CASE」において自動運転車(EV)に適用する特殊ワイヤーハーネス電線の端末加工を行うロボット技術や、IoTを応用し生産性を高めた設備を開発するなど、グローバルに販売・サービスを推進しています。

真空製品では、EVに搭載するリチウムイオン二次電池の製造工程で不可欠な真空乾燥装置を韓国および欧米、インド市場等に展開しています。また、次世代太陽光電池(ペロブスカイト等)の生産設備開発など、当社の真空プロセス技術を生かした新たな市場開拓も進めています。

一方環境システムは、環境省が各自治体向けに指導している「ごみ処理の広域化計画」で欠かせない施設を早くから展開しています。この中で、独自の技術を生かしたごみ中継施設では圧倒的なTOPシェアを誇り、リサイクル施設を含めたプラント事業では、独自のAI技術でより安全で安心な施設を提供しています。

このように、グローバル市場において拡大が期待できる事業を複数有する当セグメントは、「成長産業分野メガトレンドへの挑戦とグローバル事業拡大」をスローガンに掲げ、さらなる飛躍を目指して邁進してまいります。



常務執行役員
産機システム事業部長
新居 聡

企業情報・株式に関する情報

会社概要 (2025年9月30日現在)

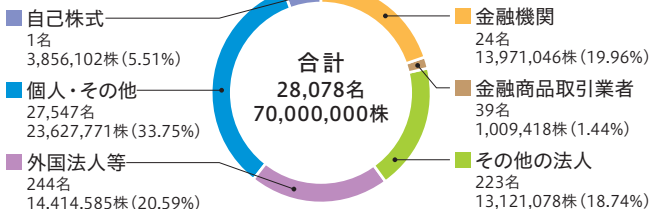
商 号 新明和工業株式会社
設 立 年 月 日 1949年11月5日
資 本 金 15,981,967,991円
従 業 員 数※ 3,658名
連 結 従 業 員 数※ 7,276名

※2025年度から、厚生労働省が定義する「常用労働者」を給与支給人員として集計しております。

株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株
発行済株式の総数 70,000,000株
単 元 株 式 数 100株
株 主 数 28,078名

株主構成



() 内の数値は株式数の比率。四捨五入した数値を表示しております。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,822,900	11.82
三信株式会社	6,749,065	10.20
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,169,000	6.30
新明和グループ従業員持株会	3,322,046	5.02
住友不動産株式会社	1,837,800	2.77
東洋ビルメンテナンス株式会社	1,391,300	2.10
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,343,530	2.03
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	1,267,660	1.91
新明和グループ取引先持株会	1,220,433	1.84
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	987,600	1.49

(注) 持株比率は、自己株式数 (3,856,102株) を控除して計算するとともに、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

役員

役員については当社ホームページをご覧ください。

<https://www.shinmaywa.co.jp/company/outline.html>

詳しくは
こちらから ▶



株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日

・2026年3月期 1株当たり中間配当金:27.00円
配当金 ・2026年3月期 1株当たり年間配当金(予想):54.00円
(年間配当性向 38.8%、DOE 3.1%)

定 時 株 主 総 会 毎年6月
株主名簿管理人/特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所プライム市場
公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

各種手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの方

口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、以下の手続き等につきましては、下欄の株主名簿管理人にお問い合わせください。

- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

特別口座に口座をお持ちの方

下欄の株主名簿管理人/特別口座管理機関にお問い合わせください。

株主名簿管理人/特別口座管理機関

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL 0120-094-777 (通話料無料)

株主の皆様の「声」をお聞かせください

前号の「Investor's Report」アンケートに、600名を超える株主様が回答してくださいました。貴重なご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

- ご回答者のうち、2割を超える株主様が5年以上当社株を保有していました。
- 当社株保有目的は、上位から①成長性、②配当、③安定性の順でした。
- コメントには、各事業の成長、防衛関連事業の拡大に期待を寄せる一方で、今般の法令違反に対して襟を正すよう求めるお声も届いております。
- 「文字が小さい」とのご意見を受けまして、トップメッセージ、事業解説の文字サイズを大きくしました。

今回も、本誌、当社IRへのご意見をお聞かせください。回答して下さった方の中から抽選で、薄謝(QUOカードPay 500円分)をお送りいたします(メールアドレスのご入力が必要となります)。2026年1月31日まで受け付けておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

こちらから、アンケートフォームに
遷移します。



新明和工業株式会社

<https://www.shinmaywa.co.jp/>

〒665-8550
兵庫県宝塚市新明和町1番1号
TEL 0798-56-5000 (代表)

